

# 伊豆市における公共交通の現状

伊豆市地域づくり課

## ○市の概要

(令和7年4月1日現在)

合併日	平成16年4月1日(旧修善寺町、旧土肥町、旧天城湯ヶ島町、旧中伊豆町)
面積	363.97 km <sup>2</sup> (県下5位/35)
世帯数	13,405 世帯
総人口	27,404 人(合併時 37,869 人 比較▲10,465 人)



## ○自動車保有台数等

(令和6年4月1日現在)

自動車保有台数	26,221 台 (うち自家用乗用車 16,927 台)
車両1台あたりの人口(人)	1.00 人 (県下31位/35)

## 1. 公共交通の概要

### (1) 鉄 道

三島駅から修善寺駅に向けて伊豆箱根鉄道駿豆線が運行しており「牧之郷駅」と「修善寺駅」の2つの駅が存在。

伊豆箱根鉄道 乗降者数

(単位：人)

年度	修善寺駅		牧之郷駅	
	乗車人員	降車人員	乗車人員	降車人員
R2	540,144	576,195	59,970	63,593
R3	601,859	631,725	65,250	68,598
R4	636,543	689,541	72,969	72,775
R5	686,065	728,806	87,502	84,876
R6	675,686	703,757	90,827	82,659

### (2) バス路線 (令和7年4月1日現在)

修善寺駅は鉄道のない伊豆半島地域へのターミナル駅となっており、駅前には近隣市町及び半島各地へ向かうバス路線が集まっている。

《東 海 バ ス》 市内 59 系統

うち 自主運行バス

29 系統

うち 国庫補助路線

3 路線 10 系統

### (3) タクシー

\*市内 タクシー事業者：3 社

(単位：台)

\*市内 福祉タクシー事業者：2 社

事業者名	特大	大型	普通	福祉	UD
伊豆箱根交通(株)	1		26		1
(株)寺山自動車	2		18		
伊豆土肥交通(株)	2		8		

・やさしい家

・(株)伊豆中央自動車

## 2. 不採算路線の状況

### ① 自主運行バス 34 系統 一覧（運行期間 R5.4.1～R6.3.31）

系統番号	系統名 (路線名)	運行系統			系統 キロ程 (km)	運行 回数 (回／ 日)	運行時間帯	平均乗 車密度 (人)	令和 5 年度 年間経常損益額 (円)
		起 点	経過地	終 点					
1	修善寺・天城の杜線	修善寺駅	本立野	天城の杜	16.9	5.5	6:22～19:00	2.6	-15,611,575
2	修善寺・持越温泉線	修善寺駅	本立野	持越温泉	19.5	1.5	17:40	1.9	-6,014,856
3	修善寺・持越温泉線	修善寺駅	吉奈温泉	持越温泉	21.7	1.0	15:30	3.0	-3,335,734
4	修善寺・湯ヶ島温泉線	修善寺駅	本立野	湯ヶ島温泉	14.7	4.5	7:15～18:35	2.0	-12,927,417
5	修善寺・湯ヶ島温泉線	修善寺駅	吉奈温泉	湯ヶ島温泉	16.9	1.0	12:45	5.1	-692,993
6	修善寺・柿木大野線	修善寺駅	下柿木	柿木大野	11.8	2.3	14:40～18:10	0.7	-7,247,536
7	柿木循環	修善寺駅	柿木循環	修善寺駅	17.1	0.8	7:35	1.0	-1,893,130
8	天城小・長野線	天城小学校	田沢	長野	8.2	1.1	14:55～15:55	1.2	-2,018,096
9	修善寺・上大沢線	修善寺駅	牧之郷	上大沢	9.8	2.4	5:55～16:00	2.1	-4,444,523
10	修善寺・湯舟口線	修善寺駅	小山	湯舟口	4.4	2.0	6:17～18:38	1.1	-1,857,211
11	修善寺・湯舟口線	修善寺駅	寺山口	湯舟口	4.6	2.0	6:34～18:55	3.6	-434,631
12	修善寺・馬渡橋	修善寺駅		馬渡橋	4.9	3.5	7:01～16:05	1.5	-3,249,617
13	修善寺・下尾野口線	修善寺駅	冷川	下尾野口	10.4	0.1	6:35	3.6	-173,889
14	修善寺・下尾野口線	修善寺駅	中伊豆温泉病院	下尾野口	10.7	1.2	8:22～19:25	1.3	-2,959,929
15	下尾野口・修善寺線	下尾野口	小川橋	修善寺駅	13.0	0.1	7:07	4.7	-93,763
16	下尾野口・沢口線	下尾野口	冷川	沢口	6.8	1.1	14:57～15:47	0.0	-2,251,870
17	修善寺・伊東線	修善寺駅	冷川	伊東駅	13.4	0.3	7:00	0.9	-1,110,712
18	修善寺・伊東線	修善寺駅	中伊豆温泉病院	伊東駅	13.6	1.6	9:40～18:35	2.5	-3,700,851
19	修善寺・温泉病院線	修善寺駅	小川橋	中伊豆温泉病院	5.6	2.0	8:00～15:55	1.9	-2,271,238
20	中伊豆線	修善寺駅	地藏堂	筏場	12.8	0.1	6:50	1.6	-448,434
21	中伊豆線	修善寺駅	中伊豆温泉病院・地藏堂	筏場	13.1	1.0	14:00～17:50	1.3	-2,989,863
22	中伊豆線	修善寺駅	貴僧坊	筏場	12.8	0.2	6:13～7:20	2.6	-579,547
23	中伊豆線	修善寺駅	中伊豆温泉病院・貴僧坊	筏場	13.1	1.0	9:00～15:40	1.4	-2,997,736
24	中伊豆線	修善寺駅	地藏堂・筏場	姫之湯下	15.3	0.1	7:00	5.2	-106,024
25	中伊豆線	修善寺駅	中伊豆温泉病院・地藏堂・筏場	姫之湯下	15.6	0.2	18:20～20:45	1.2	-1,044,834
26	修善寺・柿木大野線	修善寺駅	下柿木	柿木大野	11.8	0.2	15:45～18:10	1.1	-865,349
27	柿木循環	修善寺駅	柿木循環	修善寺駅	17.1	0.3	7:35～13:25	0.4	-809,226
28	中伊豆線	修善寺駅	冷川	下尾野口	10.4	2.5	8:22～19:20	1.7	-5,721,556
29	中伊豆線	下尾野口	中伊豆温泉病院	修善寺駅	14.0	0.5	7:04～18:09	2.2	-1,565,513
30	中伊豆線	修善寺駅	冷川	伊東駅	13.4	4.0	7:00～18:35	2.4	-10,416,002
31	中伊豆線	修善寺駅		中伊豆温泉病院	5.6	5.0	8:03～17:10	1.5	-5,547,657
32	中伊豆線	修善寺駅	地藏堂	筏場	12.8	2.3	6:50～17:50	1.4	-7,266,056
33	中伊豆線	修善寺駅	貴僧坊	筏場	12.8	2.6	9:00～15:35	1.6	-7,671,284
34	中伊豆線	修善寺駅	地藏堂・筏場	姫之湯下	15.3	0.7	18:20～20:45	3.0	-2,277,828
								回送	-784,609
								留車	-1,358,063
								合計	-130,507,863

## ② 国庫補助路線（運行期間 R5.10.1～R6.9.30）

系統番号	系統名 (路線名)	運行系統			系統 キロ程 (km)	運行回 数 (回/日)	運行時間帯 (修善寺駅 発)	平均乗 車密度 (人)	年間経常損益 額 (円)
		起 点	経過地	終 点					
1	戸田線	修善寺駅	虹の郷	戸田	25.1	7	7:38～18:50	5.4	△10,273,450
2	天城峠線	修善寺駅	天城峠	河津駅	41.4	10	8:15～16:20	4.0	△55,028,562
3	西海岸線	修善寺駅	土肥温泉	松崎	54.4	13.6	7:15～20:05	4.4	△94,388,180

## 3. 不採算路線の収支状況

### (1) 自主運行バス

(金額: 千円)

運行年度	利用者数 (人)	経常収益	経常費用	経常損益	市補助金	うち県補助金
R 2	286,064	50,854	136,662	△85,808	85,808	31,232
R 3	252,812	46,534	154,544	△108,010	108,010	33,539
R 4	295,874	58,150	188,694	△130,543	130,543	41,055
R 5	291,224	64,736	195,244	△130,508	130,508	41,730

### (2) 国庫補助路線

#### ① 戸田線

(金額: 千円)

運行年度	利用者数 (人)	経常収益	経常費用	経常損益	国庫補助金	県補助金
R 2	24,770	13,792	44,616	△30,824	7,268	6,230
R 3	31,078	17,663	49,555	△31,892	9,962	8,539
R 4	30,897	27,452	51,518	△24,066	7,248	3,400
R 5	46,262	26,395	51,264	△24,869	5,038	5,038
R 6	78,224	42,251	52,524	△10,273	7,442	7,442

#### ② 天城峠線

(金額: 千円)

運行年度	利用者数 (人)	経常収益	経常費用	経常損益	国庫補助金	県補助金
R 2	66,430	24,336	107,993	△83,657	20,534	12,448
R 3	77,208	24,861	117,945	△93,084	27,048	24,335
R 4	121,180	46,950	122,786	△75,836	17,541	8,521
R 5	128,115	59,798	121,481	△61,683	8,353	8,353
R 6	129,057	69,161	124,190	△55,029	13,685	13,685

#### ③ 西海岸線

(金額: 千円)

運行年度	利用者数 (人)	経常収益	経常費用	経常損益	国庫補助金	県補助金
R 4	126,241	93,553	217,497	△123,944	45,622	44,325
R 5	117,633	99,374	216,452	△117,078	29,185	29,185
R 6	132,177	127,179	221,567	△94,388	27,941	27,941

## 4. 公共交通利用者 補助制度

### ①高齢者路線バス割引乗車証(いきいきパス)購入費補助事業

- ・ 目 的：高齢者の生活圏の拡大、社会参加の促進及び福祉の増進
- ・ 事業内容：70 歳以上の方を対象に、市内路線バスが乗り放題になる「いきいきパス」を販売。
- ・ 補助金額：3 ヶ月券…5,000 円、6 ヶ月券…9,000 円、12 ヶ月券…13,500 円  
 ※令和 7 年度より免許返納者に対して、補助金額を増額（免許返納時 1 度限り）  
 3 ヶ月券…10,500 円、6 ヶ月券…19,500 円、12 ヶ月券…33,500 円

・ 実 績：

年 度	交付数（実利用人数）	市補助金額
R 2	349 人（235 人）	3,237,000 円
R 3	341 人（224 人）	3,143,000 円
R 4	342 人（263 人）	3,205,500 円
R 5	286 人（210 人）	2,663,000 円
R 6	178 人（116 人）	1,602,000 円

### ②福祉タクシー・鉄道・バス等利用料金助成事業

- ・ 目 的：障害者・高齢者の生活範囲の拡大と社会参加の促進を図る
- ・ 事業内容：対象者（※高齢者は満 80 歳以上）にタクシー・バス・鉄道共通の 100 円券 12,000 円分を交付

・ 実 績：

年 度	対象者		交付者数	利用枚数	市助成金額
R 2	高齢者	3,662 人	2,243 人	164,235 枚	16,423,500 円
	障害者	880 人	612 人	38,562 枚	3,856,200 円
R 3	高齢者	3,667 人	2,299 人	169,075 枚	16,907,500 円
	障害者	911 人	605 人	38,770 枚	3,877,000 円
R 4	高齢者	3,782 人	2,415 人	187,337 枚	18,733,700 円
	障害者	888 人	601 人	40,264 枚	4,026,400 円
R 5	高齢者	3,806 人	2,426 人	186,671 枚	18,667,100 円
	障害者	900 人	590 人	41,145 枚	4,114,500 円
R 6	高齢者	3,954 人	2,542 人	192,519 枚	19,251,900 円
	障害者	871 人	557 人	38,862 枚	3,886,200 円

### ③通学費補助事業(小・中学生)

- ・ 目 的：通学費負担の軽減及び義務教育の円滑な遂行を図る
- ・ 事業内容：通学距離が片道 2 km以上の児童・生徒を対象に通学費を補助  
令和 7 年度より、中学校及び義務教育学校後期課程の生徒は伊豆市スクールパス（エリア定期券）を交付
- ・ 実 績：

年 度	区 分	申請者数	市補助金支給額
R 2	小学校 (6 校) 土肥小中一貫校前期課程	426 人	19,132,955 円
	中学校 (3 校) 土肥小中一貫校後期課程	369 人	32,491,035 円
	合 計	795 人	51,623,990 円
R 3	小学校 (6 校) 土肥小中一貫校前期課程	387 人	17,080,180 円
	中学校 (3 校) 土肥小中一貫校後期課程	359 人	30,214,610 円
	合 計	746 人	47,294,790 円
R 4	小学校 (6 校) 土肥小中一貫校前期課程	443 人	16,904,100 円
	中学校 (3 校) 土肥小中一貫校後期課程	443 人	30,826,050 円
	合 計	886 人	47,730,150 円
R 5	小学校 (6 校) 土肥小中一貫校前期課程	431 人	16,260,450 円
	中学校 (3 校) 土肥小中一貫校後期課程	440 人	30,052,250 円
	合 計	871 人	46,312,700 円
R 6	小学校 (6 校) 土肥小中一貫校前期課程	408 人	17,347,250 円
	中学校 (3 校) 土肥小中一貫校後期課程	416 人	31,230,120 円
	合 計	824 人	48,577,370 円

### ④高校生バス通学補助事業

- ・ 目 的：保護者の負担軽減及び路線バスの利用促進を図る
- ・ 事業内容：高校生通学定期券の購入費用から片道 230 円の通学定期代相当額を差し引いた額の 3 分の 2 を補助 ※片道 230 円以下の区間は対象外
- ・ 実 績：

年 度	購入人数	実人数	販売金額	市補助金額
R 2	647 人	135 人	17,757,980 円	8,186,700 円
R 3	621 人	126 人	18,533,560 円	8,595,700 円
R 4	490 人	121 人	15,620,050 円	7,214,500 円
R 5	455 人	105 人	16,076,620 円	7,401,000 円
R 6	464 人	101 人	15,275,520 円	6,987,800 円

### ⑤ 中高生バス回数券事業

- ・ 目 的： 生徒の部活動の推進及び市内路線バスの利用促進を図る
- ・ 事業内容： 市内の中高等学校等の生徒等が学校活動を理由に学校間を移動する際に使用できるバス回数券を助成
- ・ 実 績： ※令和 5 年 7 月から開始

年 度	使用枚数	市助成額
R 5	700 枚	699,150 円
R 6	820 枚	1,015,030 円

### ⑥ 路線バス利用促進券交付事業

- ・ 目 的： 普段路線バスを利用しない市民が、イベントに合わせて路線バスを利用するきっかけを作り、路線バスの利用促進を図る
- ・ 事業内容： 市等が主催するイベント日のみ利用できる「路線バス利用促進券」を広報紙等で配布する
- ・ 実 績： ※令和 7 年 3 月から開始

年 度	配布回数	使用枚数	市助成額
R 6	1 回（3 月）	122 枚	24,400 円

## 伊豆市生活交通ネットワーク形成計画 推進事業について

### 1. 令和6年度 取組評価について

#### (1) 施策進捗状況

計画における取り組み内容		R6 取り組み目標	R6 実施状況	実施主体
【事業1】 地域ごとの交通システムの再編・導入事業		・地域づくり協議会を対象に実証運行を行い、新たな地域交通導入に向けた効果検証を行う。	・湯ヶ島地区及び月ヶ瀬学区地域づくり協議会とボランティア輸送による買い物支援の実証実験を行った。	地域住民 交通事業者 行政
【事業2】 学校再編に伴う路線バス網の見直し事業		・中学校再編に伴う路線バス網の再編及び周知を行う。	・中学校開校に伴う路線バスの再編を行った	交通事業者 行政
【事業3】 利用しやすい公共交通・魅力向上事業	【事業3-1】 これまでに実施した利用促進事業の継続	・バスの乗り方教室を実施する。 ・方面別ナンバリングの周知継続を行う。 ・キャッシュレス決済の周知を行う。	・子供向けのバスの乗り方教室に加え、高齢者向けのバスの乗り方教室を実施した。 ・デジタルサイネージでバスの運行状況を提供した。	交通事業者 行政
	【事業3-2】 各種補助事業を活用した利用促進策の充実	・いきいきバス等の補助事業の継続及び周知を行う。 ・中学生高校生を対象としたバス利用促進施策を行う。 ・公共交通 PR 資料を作成する。	・いきいきバスおよび高校生通学補助について HP 等で案内を実施した。 ・免許返納者を対象に、生きいきバス、タクシー券等の案内を送付した。	交通事業者 行政

#### (2) 目標達成状況

目標 1-1 公共交通等のサービス改善による人口カバー率

R3 時点 71.2% → R6 時点 70.4% → 目標 75.0%

目標 1-2 日中における公共交通等による高齢者人口のカバー率

R3 時点 62.7% → R6 時点 70.1% → 目標 70.0%

目標 2-1 市自主運行バスの利用者数

R1 時点 360,886 人 → 目標 372,000 人

市自主運行バス	利用者数（人/年）						
	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7
利用者数	360,886	286,064	252,812	295,874	291,224	265,305	—

目標 2-2 市民 1 人あたりの路線バスの利用回数

R1 時点 18.6 回/年 → 目標 22.6 回/年

路線バス	利用回数（回/年）						
	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7
利用回数	18.6	14.1	18.3	19.7	20.3	22.5	—

目標 3-1 地域協働による公共交通の維持や改善に関する検討の実施

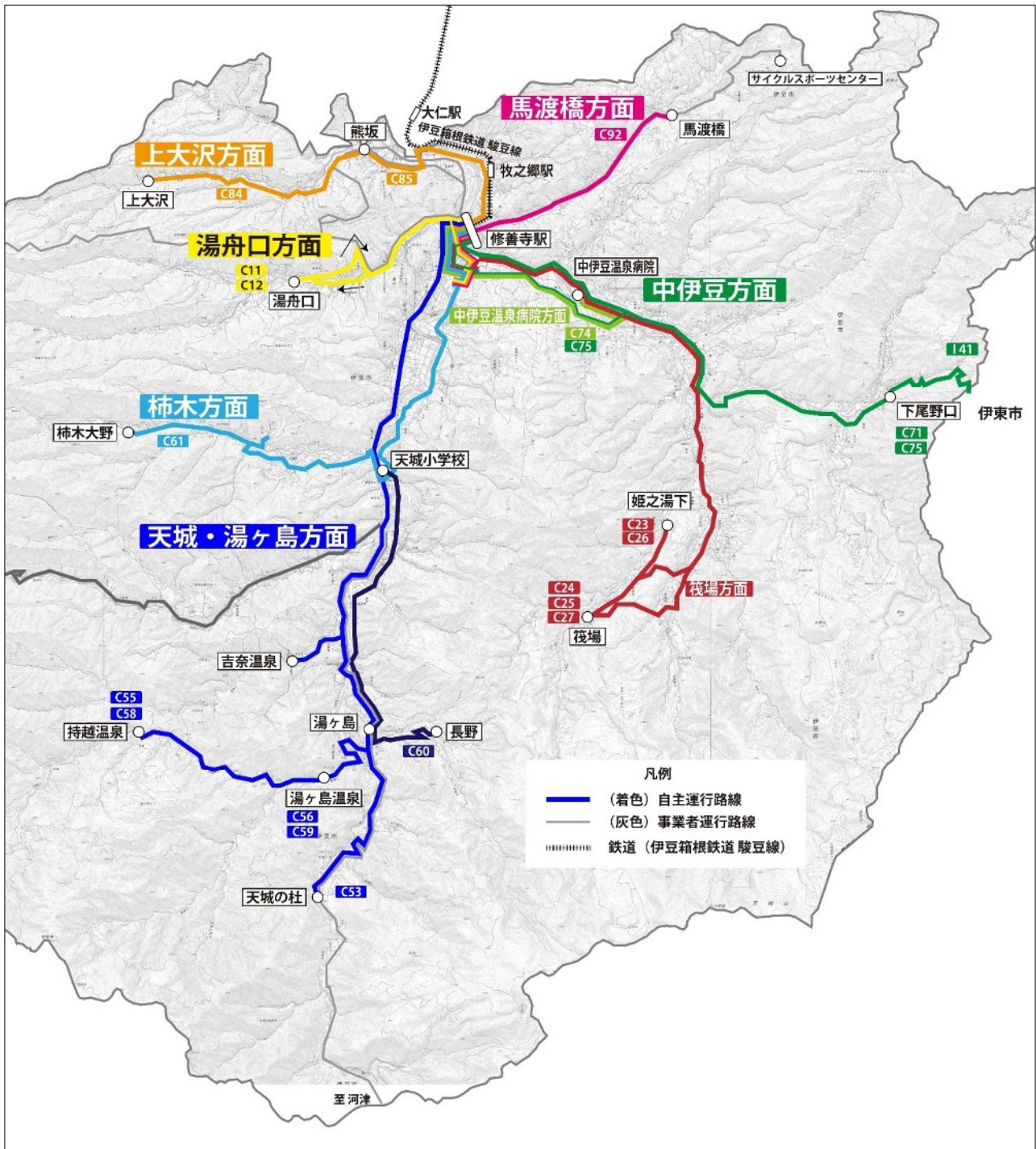
R3 時点 2 地区 → 目標 8 地区

地域協働	利用回数（回/年）				
	R3	R4	R5	R6	R7
	2	3	3	5	—

# 伊豆中学校開校に伴う路線再編後の状況と方向性について

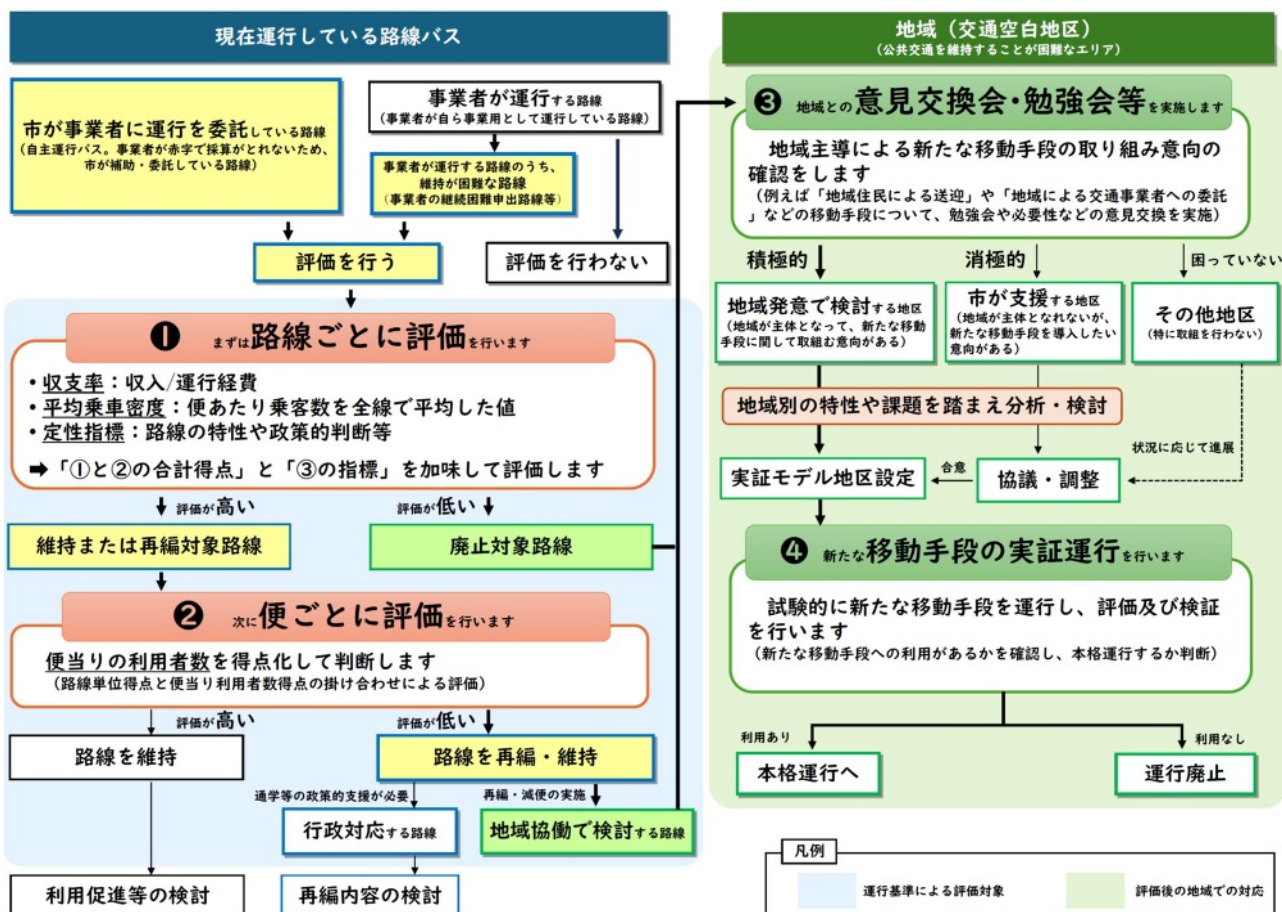
## 1 再編後の路線状況

### 1) 再編後の路線図



## 2) ガイドラインに基づく評価（見込み値）

### ① 評価フロー



### ② 評価方法

#### ■基本的な考え方

- 自主運行バス、事業者単独維持困難路線を評価対象とする。
- 路線単位の評価を行い、評価が著しく低い路線は廃止対象とし、地域の評価に移行する。
- 維持または再編対象路線は、より詳細な評価を行うため便単位の評価に移行する。
- 再編対象路線の沿線で、地域主体の取組意欲のある場合は地域評価に移行する。
- 通学支援のため、小学校・中学校への登下校時等は原則確保・維持する。

### ③ ガイドラインに基づく路線別評価（見込み値）

方面	系統番号	路線名	収支率 (R7)	得点	平均乗車 密度 (R7)	得点	路線 得点	定性評価	路線別類 型化	路線評価
湯舟口	C11	修善寺・湯舟口線(温泉)	85.3%	3	3.4	3	6	往復系統	分岐	維持・再編
	C12	修善寺・湯舟口線(寺山口)	62.0%	3	2.6	3	6	往復系統	分岐	維持・再編
筏場	C23	修善寺・姫之湯下線	15.7%	2	1.1	2	4	通学利用	分岐	維持・再編
	C24	修善寺・筏場線(貴僧坊)	14.8%	2	0.8	2	4	通学利用	分岐	維持・再編
	C25	修善寺・筏場線(地藏堂)	54.3%	3	3.3	3	6	通学利用	分岐	維持・再編
	C26	修善寺・姫之湯下線(伊豆中)	154.9%	3	11.3	3	6	通学利用	分岐	維持・再編
	C27	修善寺・筏場線(伊豆中)	95.1%	3	6.2	3	6	通学利用	分岐	維持・再編
天城・ 湯ヶ島	C53	修善寺・天城の杜線	60.9%	3	3.5	3	6	通学利用	広域	維持・再編
	C54	修善寺・湯ヶ島	54.6%	3	2.9	3	6	通学利用	広域	維持・再編
	C55	修善寺・持越温泉線	73.6%	3	4.4	3	6	通学利用・ 分岐部分 の利用僅 少	広域・分岐	維持・再編
	C56	修善寺・湯ヶ島温泉線	55.1%	3	3.1	3	6	通学利用・ 分岐部分 の利用僅 少	広域・分岐	維持・再編
	C58	修善寺・持越温泉線 (吉奈温泉経由)	51.1%	3	3.0	3	6	通学利用・ 分岐部分 の利用僅 少	広域・分岐	維持・再編
	C59	修善寺・湯ヶ島温泉線 (吉奈温泉経由)	81.7%	3	3.4	3	6	買物利用・ 分岐部分 の利用僅 少	広域・分岐	維持・再編
	C60	天城小・長野線	21.5%	2	1.0	2	4	通学利用	分岐	維持・再編
柿木	C61	修善寺・柿木大野線	16.3%	1	1.0	2	3	学校から の改善要 望	分岐	維持・再編
中伊豆	C71	修善寺駅・下尾野口線	32.8%	3	1.7	2	5	通院利用・ 末端部分 の利用僅少	広域	維持・再編
	C74	修善寺・中伊豆温泉病院線	33.2%	3	1.9	2	5	通院利用	多頻度運 行	維持・再編
	C75	下尾野口・修善寺線 (中伊豆温泉病院経由)	36.4%	3	2.1	3	6	通学利用	広域	維持・再編
	I41	修善寺・伊東線	44.0%	3	2.8	3	6	市境を越 えた広域 利用	広域	維持・再編
上大沢	C84	修善寺・上大沢線	66.3%	3	3.6	3	6	通学利用・ 分岐部分 の利用僅 少	分岐	維持・再編
熊坂	C85	修善寺・熊坂線(牧之郷)	17.7%	1	0.7	2	3	通学利用・ 要望路線	分岐	維持・再編
馬渡橋	C92	修善寺・馬渡橋線	31.0%	3	1.2	2	5	通学利用・ 分岐部分 の利用僅 少	分岐	維持・再編

④ 路線別便別評価結果（R 7年乗降調査結果）

方面	系統番号	路線得点	便番号	上下	発時刻	利用者数/ 便(R7)	得点	便単位評価	評価	Cランク評価
湯舟口	C11	6	1	下り	06:17	0.0	0	0	C	○
			2		07:00	0.0	0	0	C	○
			3		16:27	26.0	3	18	A	
			4		17:40	2.0	1	6	B	
			5		18:38	6.0	1	6	B	
	C12	6	1	上り	06:34	6.0	1	6	B	
			2		07:17	19.0	2	12	A	
			3		16:51	7.0	1	6	B	
			4		17:57	3.0	1	6	B	
			5		18:55	0.0	0	0	C	○
筏場	C23	4	1	下り	18:15	6.0	1	4	B	
			2	上り	06:05	3.0	1	4	B	
	C24	4	1	下り	09:00	4.0	1	4	B	
			2		14:30	8.0	2	8	B	
			3		15:40	37.0	3	12	A	
			4		06:49	16.0	2	8	B	
			5	上り	14:00	3.0	1	4	B	
			6		15:10	10.0	2	8	B	
			7		16:30	45.0	3	12	A	
			8		17:20	9.0	2	8	B	
	C25	6	1	下り	06:49	16.0	2	12	A	
			2		14:00	3.0	1	6	B	
			3		15:10	10.0	2	12	A	
			4		16:30	45.0	3	18	A	
			6	上り	17:20	9.0	2	12	A	
			7		09:32	4.0	1	6	B	
			8		15:02	0.0	0	0	C	○
			9		16:12	6.0	1	6	B	
	C26	6	1	上り	06:55	73.0	3	18	A	
	C27	6	1	上り	07:19	31.0	3	18	A	
天城・湯ヶ島	C53	6	1	下り	06:22	4.0	1	6	B	
			2		07:45	5.0	1	6	B	
			3		09:00	5.0	1	6	B	
			4		18:00	3.0	1	6	B	
			5		19:00	9.0	2	12	A	
			6	上り	06:43	21.0	3	18	A	
			7		07:23	10.0	2	12	A	
			8		08:28	4.0	1	6	B	
			9		18:40	8.0	2	12	A	
			10		19:40	2.0	1	6	B	
	C54	6	1	下り	16:00	9.0	2	12	A	
			2	下り	19:45	8.0	2	12	A	
	C55	6	3	上り	05:45	5.0	1	6	B	
			1	下り	17:40	6.0	1	6	B	
			2	上り	06:15	8.0	2	12	A	
	C56	6	3	上り	16:36	6.0	1	6	B	
			1	下り	07:10	7.0	1	6	B	
			2		16:40	14.0	2	12	A	
			3		18:35	2.0	1	6	B	
			4	上り	08:01	6.0	1	6	B	
			5		10:03	7.0	1	6	B	
			6		13:28	3.0	1	6	B	
			7		17:28	0.0	0	0	C	○
	C58	6	1	下り	15:40	15.0	2	12	A	
			2	上り	06:46	64.0	3	18	A	
	C59	6	1	下り	12:45	5.0	1	6	B	
			2	上り	09:01	8.0	2	12	A	
	C60	4	1	下り	14:55	16.0	2	8	B	
			2		15:55	7.0	1	4	B	
			3		17:00	0.0	0	0	C	○
			4	上り	07:15	16.0	2	8	B	
			5		15:19	0.0	0	0	C	○
柿木	C61	3	1	下り	14:35	8.0	2	6	B	
			2		15:35	4.0	1	3	C	○
			3		16:35	9.0	2	6	B	
			4		18:10	3.0	1	3	C	○
			5	上り	07:00	33.0	3	9	B	
			6		15:16	0.0	0	0	C	○
			7		16:21	3.0	1	3	C	○
			8		17:07	2.0	1	3	C	○

往復路ともに利用者が少なく減便を検討

中伊豆	C71	5	1	下り	08:22	2.0	1	5	B	
			2		14:33	6.0	1	5	B	
			3		15:23	4.0	1	5	B	
			4		17:45	9.0	2	10	A	
			5		19:25	2.0	1	5	B	
			6	上り	06:35	9.0	2	10	A	
			7		08:49	3.0	1	5	B	
			8		15:25	6.0	1	5	B	
			9		15:55	0.0	0	0	C	○
			10		18:11	0.0	0	0	C	○
	C74	5	1	下り	08:00	1.0	0	0	C	○
			2		09:05	1.0	0	0	C	○
			3		10:10	2.0	1	5	B	
			4		13:45	3.0	1	5	B	
			5		14:55	2.0	1	5	B	
			6		15:55	3.0	1	5	B	
			7	上り	16:48	13.0	2	10	A	
			8		08:30	1.0	0	0	C	○
			9		09:15	2.0	1	5	B	
			10		10:40	2.0	1	5	B	
			11		12:05	2.0	1	5	B	
			12		15:20	1.0	0	0	C	○
	C75	6	1	上り	07:02	46.0	3	18	A	
I41	6	1	下り	07:30	8.0	2	12	A		
		2		11:35	19.0	2	12	A		
		3		16:35	37.0	3	18	A		
		4	上り	09:30	14.0	2	12	A		
		5		13:30	4.0	1	6	B		
		6		18:15	3.0	1	6	B		
上大沢	C84	6	1	下り	06:30	1.0	0	0	C	○
			2		15:55	19.0	2	12	A	
			3		16:45	24.0	3	18	A	
			4	上り	07:00	42.0	3	18	A	
			5		17:22	0.0	0	0	C	○
熊坂	C85 ※C36含む	3	1	下り	12:35	0.0	0	0	C	○
			2		14:50	4.0	1	6	B	
			3		16:40	42.0	3	18	A	
			4	上り	07:00	1.0	0	0	C	○
			5		07:15	43.0	3	18	A	
			6		07:20	35.0	3	18	A	
			7		12:55	2.0	1	6	B	
			6	15:12	0.0	0	0	C	○	
馬渡橋	C92	5	1	下り	07:01	0.0	0	0	C	○
			2		08:20	1.0	0	0	C	○
			3		14:55	1.0	0	0	C	○
			4		16:05	2.0	1	5	B	
			5		16:43	7.0	1	5	B	
			6	上り	07:16	32.0	3	15	A	
			7		08:35	3.0	1	5	B	
			8		15:10	1.0	0	0	C	○
			9		16:20	0.0	0	0	C	○
			10		17:17	0.0	0	0	C	○
全路線計			134			1282				
					便平均	9.56				

利用者数/便(R7):令和7年度市内路線バス乗降調査結果

## ■評価結果と対応の方向性

【修善寺方面】(C11・C12 湯舟口線、C84 上大沢線、C85 熊坂線 (C36 含む)、C92 馬渡線)

- ・C85 熊坂線の朝一便の利用が少ないため、不足している中伊豆地区への振替えを検討する。
- ・朝の下り便、夕方の上りは利用者がいないが、スクール対応の上下便の運用のため維持確保が必要。ただし、効率的な運行を引き続き検討する。

【中伊豆方面】(C23、C24、C25、C26、C27、C71、C74、C75、I41)

- ・中学校への朝の通学便は乗り切れていない現状があるため、熊坂線からの振替え等、増便を検討するとともに、下校時の運行ダイヤの調整も行う。
- ・C74 中伊豆温泉病院線は、下り最終便は中学生利用が多く維持確保が必要であるが、基本的にスクール対応に影響がなく利用がない下りの朝の1・2便および上りの最終便は減便を検討する。
- ・I41 伊東線は修善寺駅と伊東駅を結ぶ広域長大路線であるが、全区間利用者は少ないため、下尾野口以遠の廃止等、運行路線の分割や減便を検討する。

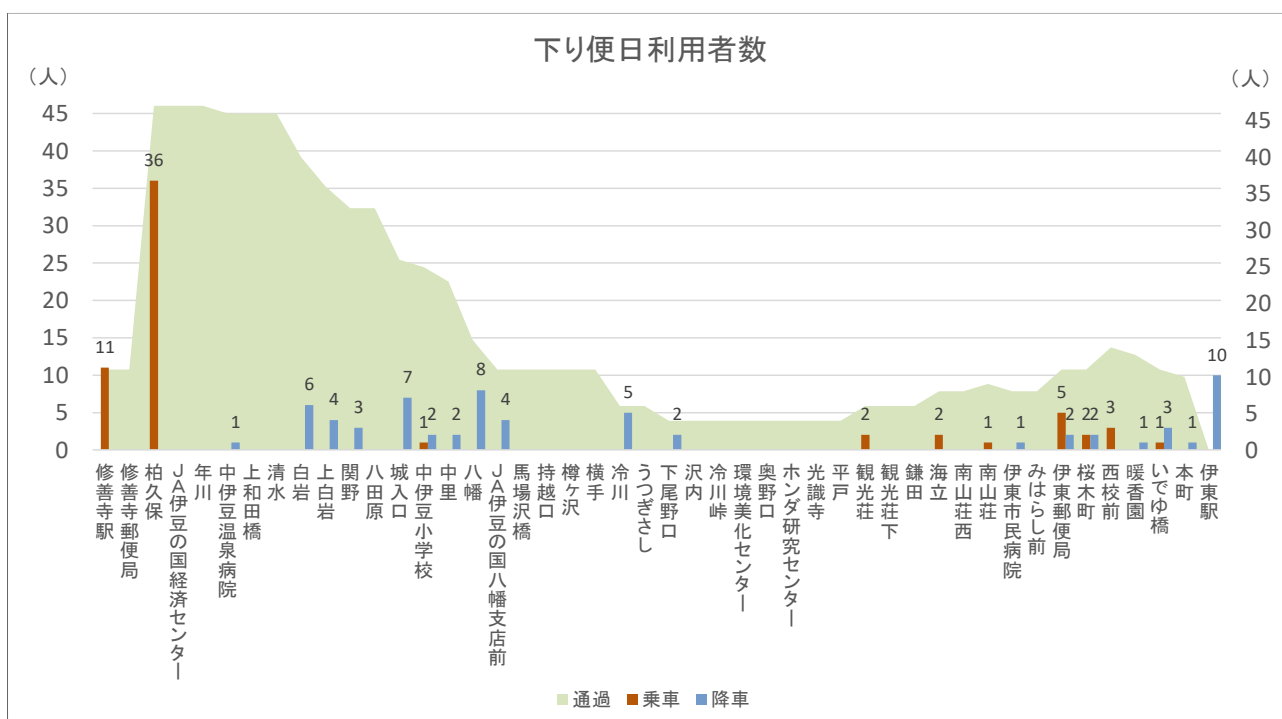
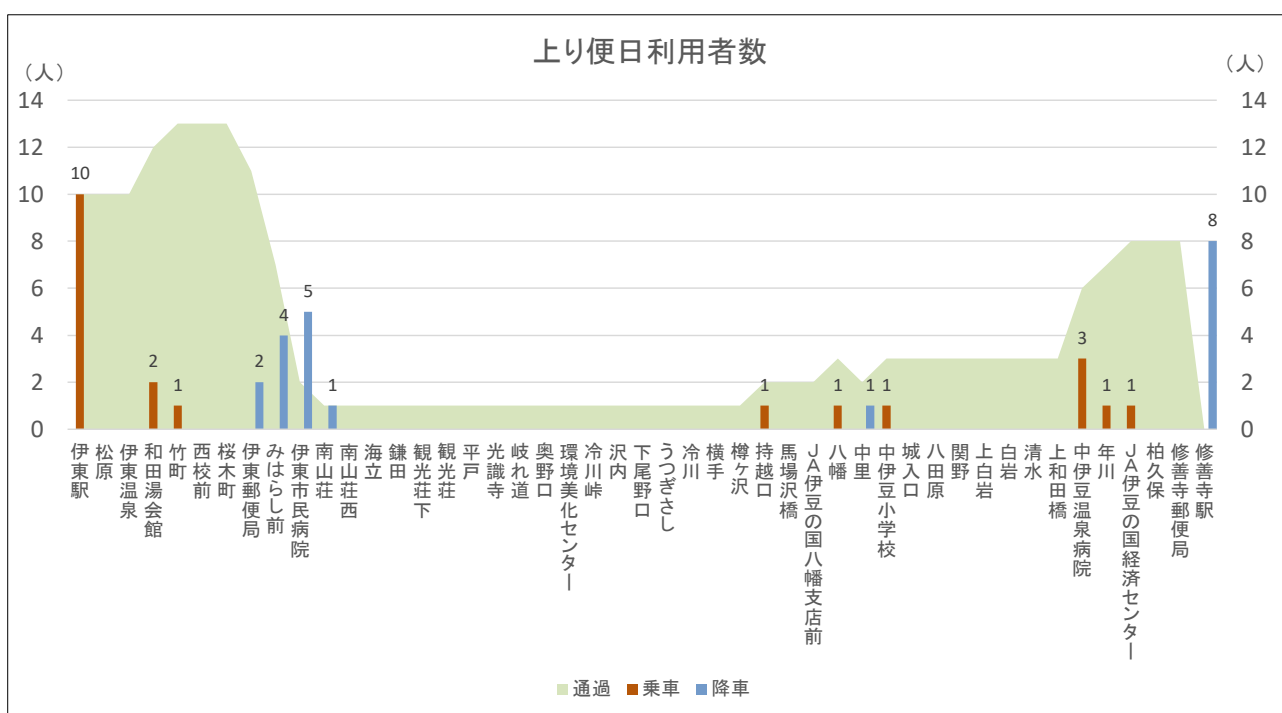
- ・その他路線もスクール対応の上下便の運用のため維持確保が必要であるが、効率的な運行の検討を行う。

【天城・湯ヶ島方面】(C53、C54、C55、C56、C58、C59、C60、C61)

- ・C61 柿木大野線の 15 時台の利用が少ないため、減便を検討する。
- ・その他路線もスクール対応の上下便の運用のため維持確保が必要であるが、効率的な運行の検討を行う。

## ■参考資料（主な路線の分析結果）

### 【I 41 伊東線】



バスに乗って、出かけよう。



# Happy Ride in Shizuoka Project



～2025小学生バス無料デーの実施～

ハッピーライドin静岡プロジェクト実行委員会  
(事務局：静岡県バス協会、県地域交通課)

# 背景と目的、目指す姿

## 背景

- ・少子高齢化、人口減少、モータリゼーションの普及による長期的な**乗合バス利用者の減少**
- ・**バスドライバーの高齢化**による運転手不足への危機感



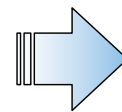
## 目的

- ・小学生を中心とした地域住民のバス利用の促進
- ・地域の移動手段である路線バスを将来に渡り維持するため、**社会全体で「乗って残す」意識を啓発**
- ・皆でバスに乗り合うことによる環境負荷の低減

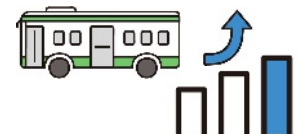


## 目指す姿

- ・マイカーから地域公共交通への転換（モビリティマネジメントの推進）
- ・バスが楽しい、（無料デーでなくても）バスに乗りたい小学生の増加
- ・子どもをバスに寄せたいと思う保護者の増加



**バス利用頻度の増加**



# 2024実施結果

## 概要

小学生のバス利用を促進し、バス利用者の増加につなげるため、  
**県内全ての小学生を対象にバス無料デーを実施した。**  
(小学生を対象とした全県規模の実施は全国初)

項目	内容
対象者	静岡県内の学校に通う小学生 524校 約173,000名 (国公立・私立小学校、特別支援学校、外国人学校の全児童)
実施日	令和6年12月7日(土)～8日(日) 2日間
対象のバス	静岡県内を運行する路線バス・コミュニティバス (土日運休路線、高速道路走行路線等一部対象外の路線・区間あり)
主催	ハッピーライドin静岡プロジェクト実行委員会(令和6年4月24日設置) 構成員：国、県、市町、(一社)静岡県バス協会、乗合バス事業者 事務局：静岡県バス協会、県地域交通課
オブザーバー	静岡鉄道株式会社、静岡県地球温暖化防止活動推進センター

# 2024実施成果と課題

## 成果

- ◆無料デー当日のバス利用者は、実施の前週、翌週のいずれと比較しても増加（子どもの利用者は前週、翌週の約4倍）
- ◆バス無料デーに乗った小学生のうち、バスに乗った頻度が少ない（今までに3～5回以下）小学生が44%、1度もバスに乗ったことがない、または1～2回の乗車経験が極めて少ない小学生は15%を占めた
- ◆今度、「バス無料デー」があればバスに乗ってみたいという小学生が全学年で6割以上を占め、無料デーでなくても乗ってみたいという小学生が全学年で約8割を占めた
- ◆バスに乗った保護者等の8割以上が、バス無料デーに満足と回答、満足な理由として「子どもの経験になったから」との回答が最多
- ◆バスに乗らなかった保護者等についても、9割以上が次回は子どもを乗せたいと回答（資料：バス事業者アンケート、小学生、保護者等Webアンケート結果）

◆普段マイカー利用が多い小学生及びその保護者が、無料デーにバスを利用する等、バス利用の体験機会を提供することができた

◆バス利用の呼びかけや小学生アンケートの実施により、バスへの意識や関心を高めることができた

【県活性化協議会（R7.3.14）有識者意見より】

**将来に向けた更なる利用促進にも繋がる取組であり、効果検証しながら続けていくことが必要**

# 2024実施成果と課題

## 課題

### ◆小学生の約4割が無料デーを「知らなかった」と回答

(回答者かいなかった小学校は更に認知度が低い可能性あり)

### ◆情報入手経路は、小学生、保護者等とも学校を通じて知った人が大半

### ◆当日、リーフレットを忘れた人や無料デーを知らない人が多数存在

### ◆バス運転士が不足している状況については、7割以上の保護者等が認知、小学生の認知度は半数以下

(資料：バス事業者アンケート、小学生、保護者等Webアンケート結果)

### ◆学校から児童（保護者）

への周知方法の工夫・改善や、学校以外の情報入手経路を強化する必要性

◆無料デーの実施によるバス利用の意識、行動の変化の継続的な測定及び検証

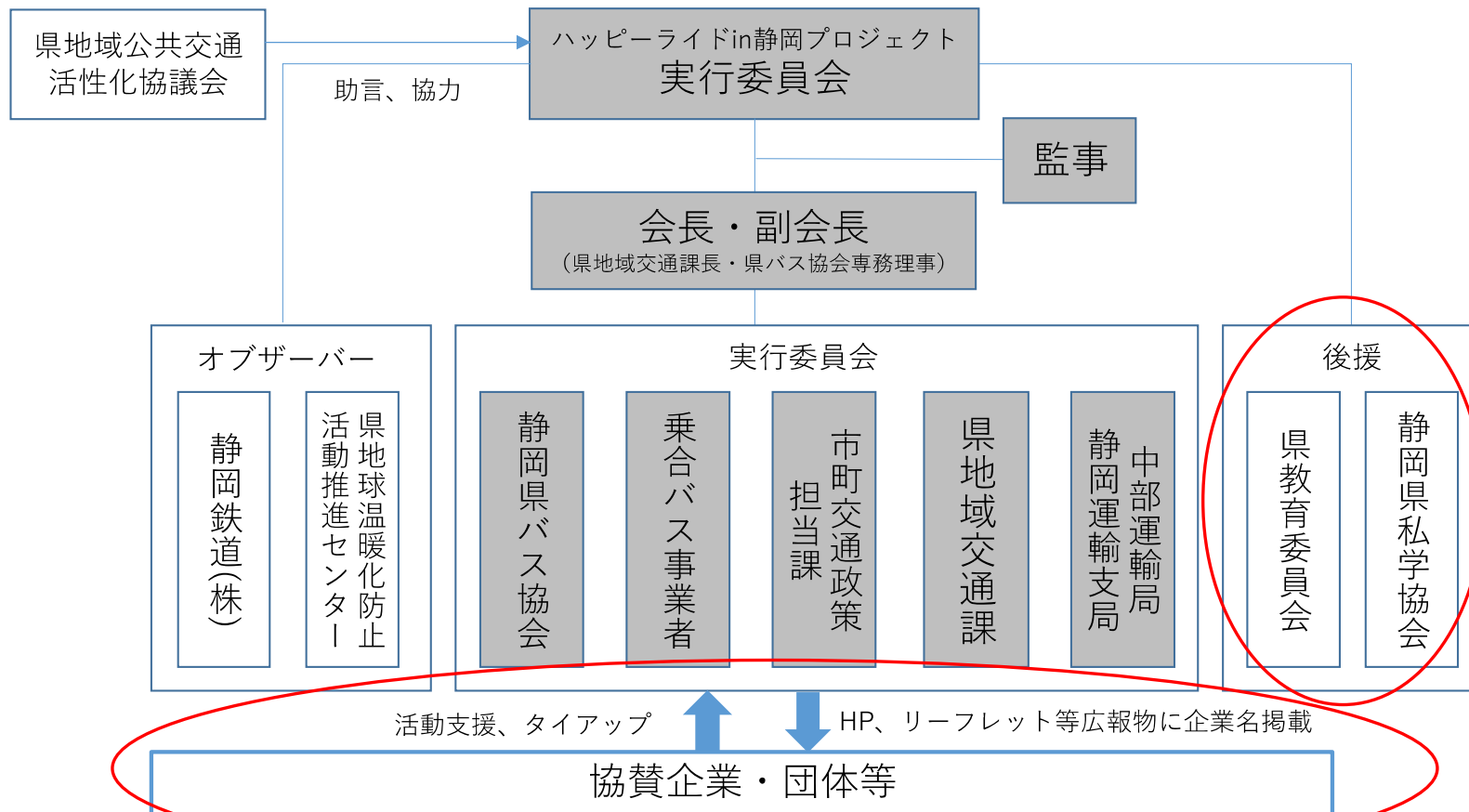
【県活性化協議会（R7.3.14）有識者意見より】

**一過性のイベントで終わらせないために、持続可能なスキームの構築の必要性**

# 2025バス無料デーの新たな取組

内容	
広報強化	<ul style="list-style-type: none"><li>◆無料デー特設サイトの開設</li><li>◆周知用掲示物（ポスター等）の作成</li><li>◆実行委員会構成員による一体的な広報の実施 （一斉プレスリリースの実施、車内広告、子育て支援施設、自治会回覧板等での周知等）</li><li>◆バスの日と連動した無料デーの告知</li><li>◆大型商業施設等への広報協力依頼</li></ul>
実施体制	<ul style="list-style-type: none"><li>◆プロジェクトへの協賛企業・団体（スポンサー）の募集</li><li>◆教育委員会の後援名義取得</li></ul>
学校との連携強化	<ul style="list-style-type: none"><li>◆授業での活用を依頼 （教材提供※～リーフレット配布～無料デー利用によるバス乗車実体験～WEBアンケート）</li><li>◆県校長会理事会での協力依頼</li></ul> <p>※バスの乗り方やマナーを学べる動画を作成予定</p>

# 2025バス無料デーの実施体制(組織図)



# 2025実施計画

項目	内容
対象者	静岡県内の学校に通う小学生 524校 約173,000名 (国公立・私立小学校、特別支援学校、外国人学校等の全児童) ※R6実績を仮置き
実施日	<b>令和7年12月13日(土)～14日(日) 2日間</b>
利用方法	リーフレットをバス運転士に提示
対象のバス	静岡県内を運行する路線バス・コミュニティバス (土日運休路線、高速道路走行路線等一部対象外の路線・区間あり)
主催	ハッピーライドin静岡プロジェクト実行委員会(令和6年4月24日設置) 構成員: 国、県、市町、(一社)静岡県バス協会、乗合バス事業者 事務局: 静岡県バス協会、県地域交通課
オブザーバー	静岡鉄道株式会社、静岡県地球温暖化防止活動推進センター
協賛企業・団体	<b>静鉄グループ、静岡ブルーレヴズ(株)、(一社)静岡県自動車会議所、 (一社)日本自動車販売協会連合会静岡県支部 ※随時募集中</b>
後援	<b>県教育委員会、静岡県私学協会</b>

# 実施スケジュール

月日	内容
5月12日	実行委員会（第1回）の開催、実施計画の決定
5月中旬	各学校長あて小学生バス無料デーへの協力依頼を発出 ※4/25県校長会理事会での説明済（県）
5月下旬～	市町地域交通会議等での説明（県）、運賃協議会での承認（市町）
6月～	実施路線の特定、タイアップイベント企画の募集
～8月下旬	周知用広告物の作成配布、特設サイト公開
<b><u>9月中旬</u></b>	<b><u>プレスリリース①（バスに日に合わせた一斉広報）</u></b>
<b><u>11月</u></b>	各学校経由で小学生に無料デーリーフレットを送付 <b><u>プレスリリース②（直前の一斉広報）</u></b>
12月13～14日	小学生バス無料デーの実施、タイアップイベントの実施
～2月	利用者アンケート等のとりまとめ（効果検証）、翌年度実施検討

## 「静岡県小学生バス無料デー」実施結果の公表 ～子どもの利用は前週翌週の約4倍に～

(静岡県交通基盤部地域交通課)

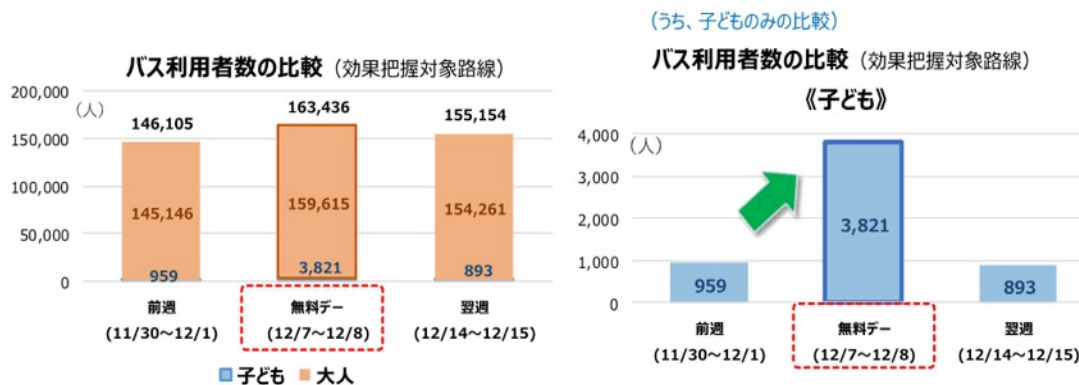
### 1 概要

- ・令和6年12月7日(土)～8日(日)の2日間、「乗って、残す。」をコンセプトに、県内の学校に通う全ての小学生を対象にバス無料デーを実施した
- ・子どものバス利用者数は、前週、翌週の約4倍となるなど、ふだんバスに乗車しない小学生がバスを利用する機会となった

### 2 主な実施結果

#### (1) 利用者数

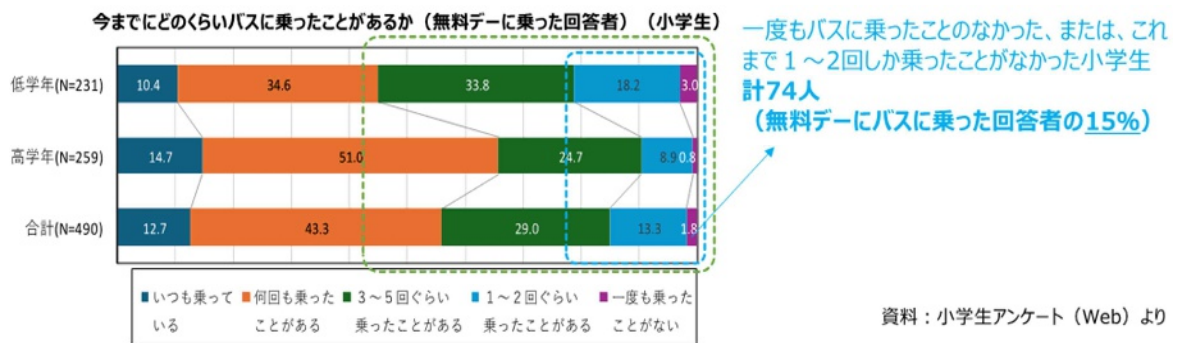
- ・バス事業者からの報告による無料デーのバス利用者は、実施の前週、翌週のいずれと比較しても増加
- ・特に子どもの増加が顕著で、前週、翌週の約4倍



※乗車人員(大人、子ども)は無料デー当日の人数把握ができた路線の合計値

#### (2) 利用促進効果

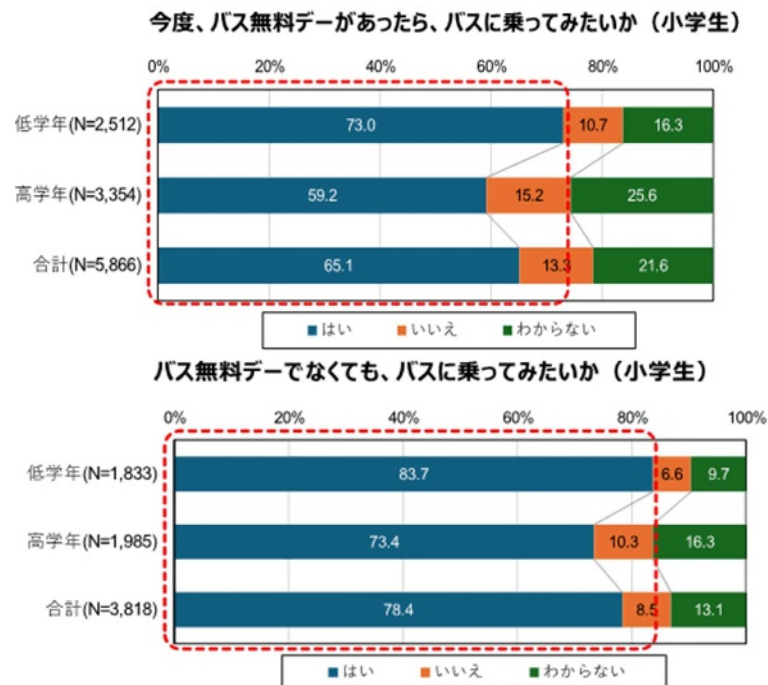
- ・バス無料デーに乗った小学生のうち、バスに乗った頻度が少ない(今までに3～5回以下)小学生が44%を占めた
- ・そのうち、1度もバスに乗ったことがない、または1～2回の乗車経験が極めて少ない小学生は15%だった
- ・以上の結果から、ふだんあまりバスを利用しない小学生に、バス利用を体験する機会を提供できたと考えられる



### (3) 利用意向・意識の変化

#### ①小学生

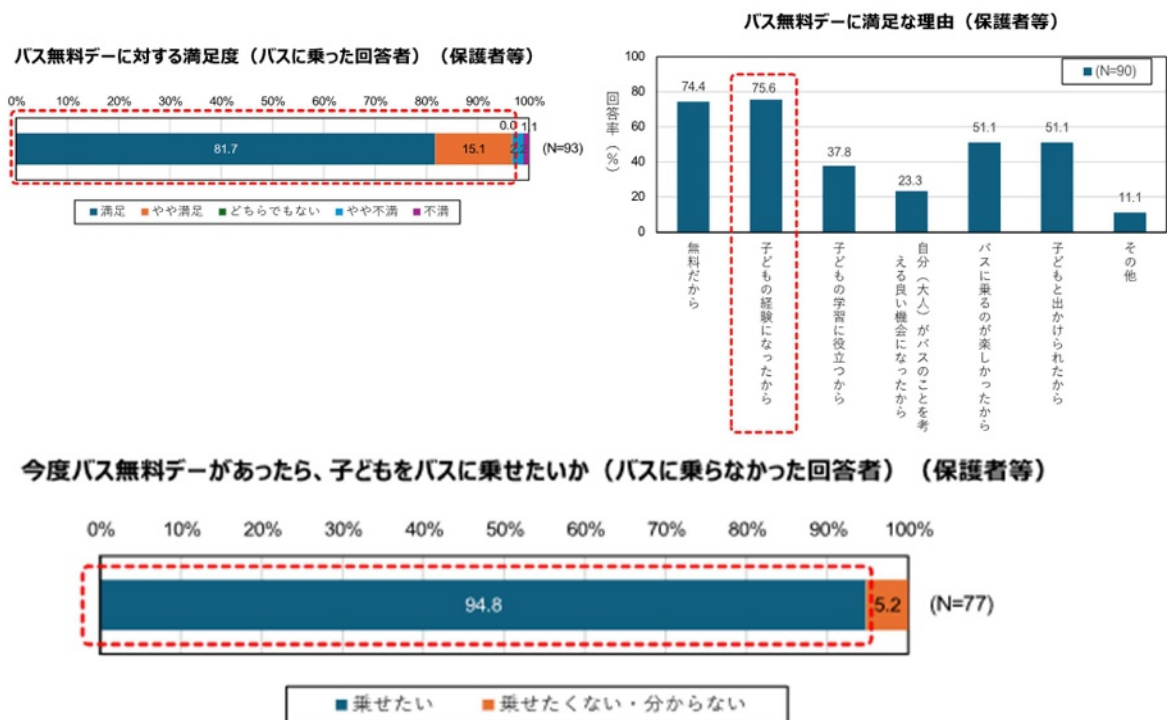
- ・ 今度、「バス無料デー」があればバスに乗ってみたいという小学生が全学年で6割以上を占めた
- ・ このうち、無料デーでなくても乗ってみたいという小学生が全学年で約8割を占めた
- ・ 以上の結果から、事前広報を含めバス無料デーが、小学生のバスに対する関心や利用意識の醸成に寄与したものと考えられる



資料：小学生アンケート（Web）

## ②保護者等

- ・バス無料デーに（小学生と一緒に）バスに乗った保護者等の8割以上が、バス無料デーに満足と回答
- ・満足な理由として「子どもの経験になったから」との回答が最も多く、保護者もバス無料デーが、子どもがバスの乗車を体験するよい機会になると認識
- ・今回のバス無料デーにはバスに乗らなかった保護者等についても、9割以上が次回は子どもを乗せたいと回答
- ・以上の結果から、保護者もバス無料デーが子どもがバスの乗車を体験するよい機会になると認識していると考えられる



資料：保護者等アンケート（Web）

以上は、調査時点の結果であり、今後の行動変容につながるかどうかは継続した取組及び調査が必要

## 参考

### 【イベント概要】

#### 1 実施日

令和6年12月7日（土）～8日（日）

#### 2 対象者

静岡県内の学校に通う小学生（約173,000人）

#### 3 利用方法

運賃を支払う代わりにリーフレットをバス運転士に提示

#### 4 対象路線

静岡県内を運行する路線バス・静岡県内のコミュニティバス

（対象外路線 土日運休路線、高速道路を走行する路線、空港アクセス線など）

#### 5 主催

ハッピーライド in 静岡プロジェクト実行委員会

（構成団体）

国、県、市町、（一社）静岡県バス協会

しずてつジャストライン(株)、遠州鉄道(株)、(株)東海バス、伊豆箱根バス(株)、  
富士急静岡バス(株)、富士急シティバス(株)、富士急モビリティ(株)、富士急バス(株)、  
秋葉バスサービス(株)、山梨交通(株)、(株)大鉄アドバンス、日本平自動車（株）

#### 6 協力団体

静岡鉄道(株)、県地球温暖化防止活動推進センター、（一社）静岡県自動車会議所  
ほか16団体

#### 7 特別協賛

静岡ブルーレヴズ(株)



【PR用ロゴマーク】

# 伊豆市生活交通ネットワーク形成計画の延長について

## 1 計画延長の考え方

現行の「伊豆市生活交通ネットワーク形成計画(令和4年3月改訂)」は、令和7年度末で計画期間が終了するため、本来であれば今年度中に次期計画を策定する予定であった。

しかし、令和7年4月に伊豆中学校が開校し、その登下校に合わせたダイヤ改正や路線の見直しなど、自主運行バスの再編が必要となったことから、市内の路線バスの状況が大きく変化する見込みとなった。このため、実態データを収集し次期計画へ反映させる必要があることから、現計画の期間を1～2年程度延長することを、令和6年度第2回伊豆市地域公共交通会議で決定した。

4月以降においては、伊豆中学校の登下校時のバス利用に関する課題が明らかになってきているほか、中学生が市内の路線バスを乗り放題で利用できる「エリア定期券事業」も開始され、バス利用の状況が従来と大きく変化している。また、昨年度からは地域主体による地域交通の取組が進みつつあり、市内における地域公共交通の将来像が徐々に具体化してきている。

さらに、国の動向として「ライドシェアの取組」や「地域公共交通計画の実質化(アップデート)」に向けた検討が進められ、その指針として「地域公共交通計画アップデートガイダンス Ver1.0」が示された。

以上の状況を踏まえ、現行計画の延長期間は1年とし、令和8年度中に新たな計画を策定、令和9年度から計画期間を開始することとしたい。

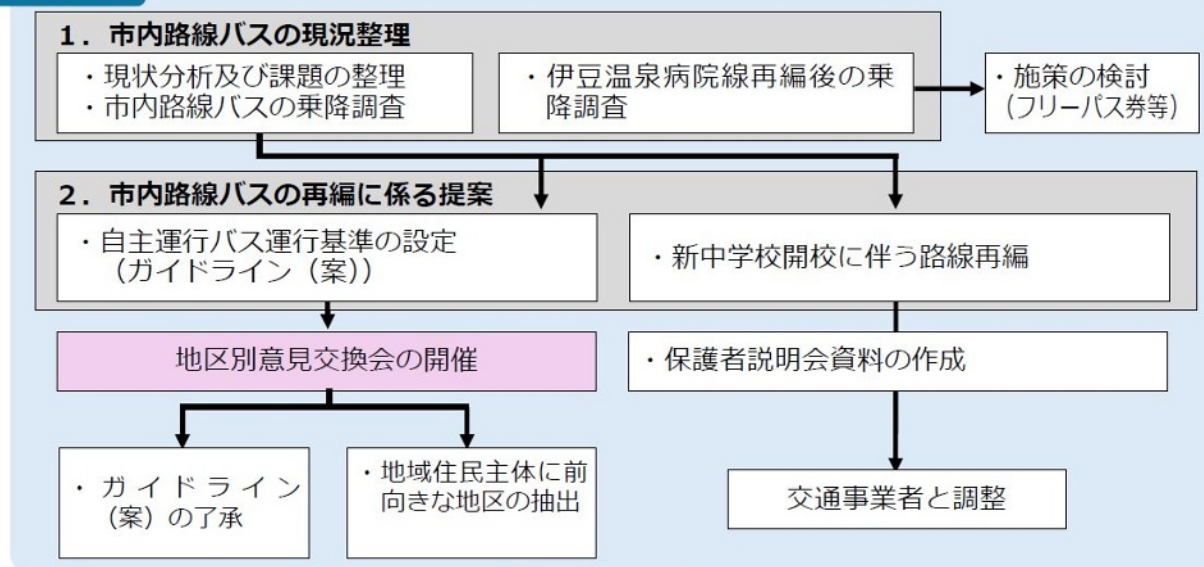
### ■伊豆市生活交通ネットワーク形成計画の改定スケジュール

	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13
伊豆市総合計画		改定 現計画	次期計画					
伊豆市まち・ひと・しごと創生人口ビジョン及び総合戦略		改定 現計画	次期計画					
「伊豆市の新しい都市計画」マスタープラン								
伊豆市生活交通ネットワーク形成計画(伊豆市地域公共交通計画)			延長 (1年)	次期計画				
伊豆中学校開校		●						
自主運行バスの再編		●						

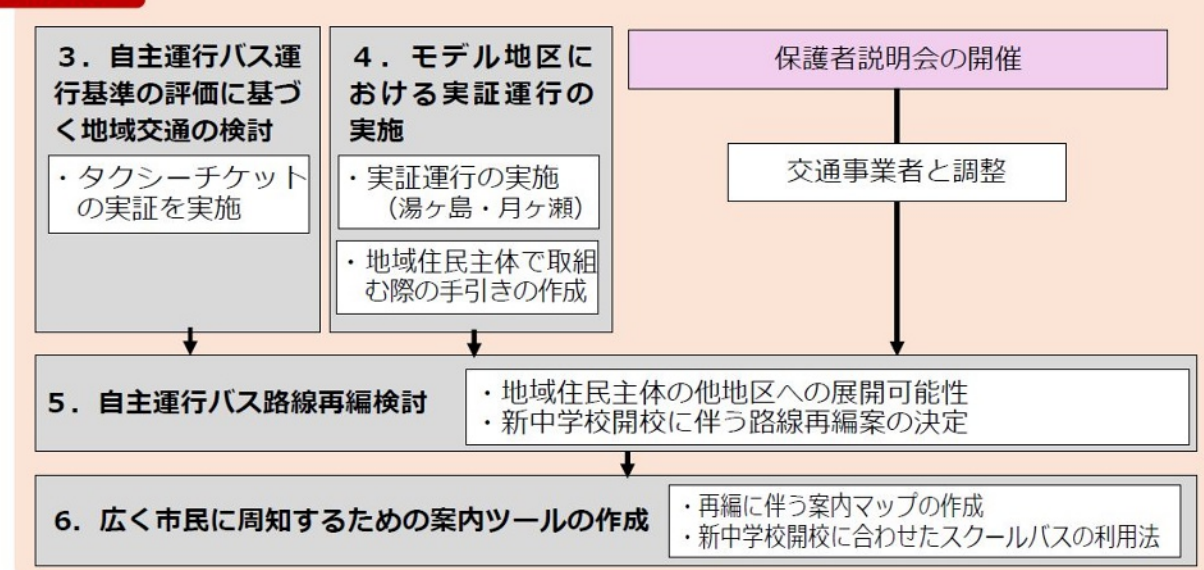
## 2 期間延長に伴う今後の進め方について

### ①これまでの取組み内容(令和5年度～令和6年度)

#### 令和5年度



#### 令和6年度



②計画期間終了に向けての取組み内容(令和7年度～令和8年度)

1)計画における課題解決のための取組みの実現に向け協議及び実施する。

計画における取組み内容		取組み(案)	実施主体
【事業1】 地域ごとの交通システムの再編・導入事業		・地域づくり協議会等を対象に実証運行を行い、新たな地域交通導入に向けた効果検証を行う。	地域住民 交通事業者 行政
【事業2】 学校再編に伴う路線バス網の見直し事業		・路線バス再編後の乗降状況の調査及びヒアリングを実施し、更なる路線バス網の調整を行う。	交通事業者 行政
【事業3】 利用しやすい公共交通・魅力向上事業	【事業 3-1】 これまでに実施した利用促進事業の継続	・バスの乗り方教室を実施する。 ・バス利用促進券の配布による、修善寺駅イベントへの参加に路線バスを利用するよう促す。	交通事業者 行政
	【事業 3-2】 各種補助事業を活用した利用促進策の充実	・いきいきパス等の補助事業の継続及び周知を行う。 ・中学生にエリア定期券を配布し、通学だけでなく、日常的に路線バスを利用するよう促す。	交通事業者 行政

2)計画改訂に向けた事業項目

実施年度	実施内容	事業目的
令和7年度	路線バス再編後の中学生ヒアリング	利用状況や満足度等により、路線バス網の見直しや、路線バス以外も含めた移動手段を検討する
	ガイドラインによる再編後の自主運行路線の評価(見込み値)	減便や廃止等の可能性がある箇所を判断し、路線バス以外の移動手段の方向性を検討する
令和8年度	地域主体による移動支援に関しての市民アンケート	交通空白地における地域主体による取組の必要性や、実施意向等の確認を行う
	ライドシェア等の実証実験	路線バスの減便、廃止等の影響だけでなく、交通空白地の解消の手段、実現可能性を検証する
	計画改定案の確認、協議	

※自主運行バスの実績は翌年度判明するため、再編後実績は令和8年度秋に判明予定